

# 平成23年度事業実施報告書

## はじめに

平成23年度は3月11日に発生しました東日本大震災により岩手・宮城・福島他5県の一部地域では給食施設が被災したため一学期の学校給食が簡易給食を余儀なくされました。当協会としては（社）全国学校栄養士協議会や各県学校給食会と連絡を密にし、特に、震災直後は学校給食用パンが緊急支援物資として学校給食会を通じて提供され災害支援に繋がりました。この経験を活かし、児童生徒を対象とした災害時の学校給食用緊急支援食品の開発を（社）全国学校栄養士協議会に提案し、新たな全学栄養いせん製品を共同で開発することになりました。

一方、学校給食用脱脂粉乳事業では円高による為替差益や協会の努力によって発生した収益の一部を被災地支援に充てることについて事業推進委員会で決定し、平成24年度に実施することになりました。

また、栄養教諭や都道府県学校給食会の全国各ブロック代表をメンバーに据えた「学校給食普及改善委員会」を新たに立ち上げ、現在の学校給食現場における取組内容・課題などの情報や意見交換により、当協会の公益活動を側面から諮問する委員会として活動を開始いたしました。

更に、食育推進の基盤活動である調理講習会および親子料理教室も（社）全国学校栄養士協議会の協力を得て開催し、両者とも開催都道府県数が過去最大となりました。

最後に、平成23年3月25日に内閣府より公益法人としての認定を受け、本年度は気持ちも新たに公益活動に取り組み、当協会の運営理念の具現化に寄与できたものと確信いたします。

詳細について、以下のとおり報告いたします。

## 公1 食育推進事業

### I. 食育の推進に関する活動

#### 1. 普及活動

##### 1) 調理講習会

開催 28 県 33 か所 参加者 1,328 名 (H22 実績 26 県 36 か所 参加者 1,496 名)

実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

##### 2) 親子料理教室

開催 23 県 86 か所 参加者 3,597 名 (H22 実績 21 県 73 か所 参加者 2,886 名)

実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

##### 3) 講師の紹介及び派遣

（社）全国学校栄養士協議会や（財）都道府県学校給食会等からの要請により研修会や調理講習会等に講師の紹介及び講師を派遣しました。

##### ○講演講師の紹介

<講師>大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 由田克士氏

主催 栃木県学校栄養士会 参加者 40名

会場 (財) 栃木県学校給食会

テーマ 「学校給食における児童生徒の食事摂取基準」(平成23年10月25日)

○調理講習会の講師として派遣

<講師> 栄養士 博多晶子氏

主催 (社) 全国学校栄養士協議会 佐賀県 (平成23年8月2日)

(於: 多久市中央公民館 参加者 59名)

主催 (社) 全国学校栄養士協議会 東京都 (平成23年8月23日)

(於: 東京都学校給食会館 参加者 30名)

主催 (社) 全国学校栄養士協議会 北海道新製品開発推進委員会 (平成23年9月22日)

(於: 札幌市男女共同参画センター 参加者 31名)

主催 (社) 全国学校栄養士協議会 岐阜県 (平成23年10月12日)

(於: 岐阜県学校給食会 参加者 75名)

主催 長崎県学校栄養士会 (平成23年11月5日)

(於: 長崎県学校給食会 参加者 39名)

主催 高知県学校栄養士会 (平成23年11月19日)

(於: 高知学園短期大学 参加者 41名)

主催 (社) 全国学校栄養士協議会 神奈川県 (平成23年12月8日)

(於: 神奈川県学校給食会館 参加者 42名)

主催 群馬県学校栄養士会 (平成23年12月20日)

(於: 群馬県学校給食会 参加者 37名)

主催 長野県安曇野市栄養教諭学校栄養職員研究会 (平成24年2月10日)

(於: 長野県諏訪市働く婦人の家 参加者 36名)

<講師> 栄養士 浜口一美氏

主催 沖縄県学校栄養士会 (平成23年10月5日)

(於: 沖縄県学校給食会 参加者 58名)

<講師> 栄養士 中野はるか氏

主催 静岡県学校栄養士会 (平成24年1月28日)

(於: 静岡県男女共同参画センター 参加者 28名)

<講師> 栄養士 久保幸代氏

主催 愛媛県学校栄養士協議会 (平成23年8月4日)

(於: 愛媛県学校給食会 参加者 41名)

主催 島根県学校栄養士会（平成 23 年 11 月 8 日）

（於：島根県学校給食会 参加者 33 名）

主催 広島県学校栄養士協議会（平成 23 年 12 月 3 日）

（於：福山市駅家公民館 参加者 13 名）

主催 （社）全国学校栄養士協議会 和歌山県（平成 24 年 2 月 17 日）

（於：田辺市民総合センター 参加者 32 名）

<講師> 栄養士 久代 愛氏

主催 我孫子市栄養士会（平成 24 年 1 月 18 日）

（於：千葉県湖北地区公民館 参加者 19 名）

主催 千葉県学校栄養士会（平成 24 年 2 月 2 日）

（於：千葉県さわやか県民プラザ 参加者 32 名）

主催 （社）全国学校栄養士協議会 宮城県（平成 24 年 2 月 8 日）

（於：仙台市木町通市民センター 参加者 32 名）

## 2. 広報活動

### 1) 機関情報誌「すこやか情報便」の発行

本機関紙は、学校給食関係者への学校給食及び食育に関するホットな情報を提供する情報誌です。発刊後、「各種講習会や講演で配布したい」「(行政や教育現場で) 資料として利用したい」との要望が複数寄せられ、都度送付して有効活用いただいています。平成 23 年度は 2 回発行しました。

○「すこやか情報便」第 11 号（平成 23 年 9 月 20 日発行）

～おいしい学校給食が安全に提供されてこそ「食に関する指導の教材」となる～

「衛生管理のレベルを下げることなく、おいしい学校給食を提供する事」は学校給食の原点であり、平成 23 年 3 月に文部科学省より発行された「衛生管理&調理技術マニュアル」を基に、この原点が各調理場で実践される様子を座談形式で語っていただき、それを誌上で紹介しました。

<座談メンバー>

文部科学省 スポーツ・青少年局 学校給食調査官	田中延子
女子栄養大学 名誉教授	殿塚婦美子
東京医科大学 兼任教授	中村明子
大分県豊後高田市立真玉中学校 栄養教諭	土谷政代
日本学校調理師会 会長	山本五十六
島根県松江市立出雲郷小学校 栄養教諭	三原まゆ

○「すこやか情報便」第12号（平成24年1月25日発行）

～第52回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会から～

特別シンポジウム

「活力ある社会を創るために～栄養教諭・学校栄養職員に期待される役割～」を誌面に再現しました。

<コーディネーター>

文部科学省 スポーツ・青少年局 学校給食調査官 田中 延子

<シンポジスト>

厚生労働省 生活習慣病対策室 栄養・食育指導官 河野 美穂

東京都立広尾病院小児科 部長 原 光彦

大阪市立大学大学院 教授 由田 克士

高知県香南市立野市小学校 栄養教諭 北村 加菜

## 2) 改善協会ニュースレター

本年度も新聞記事等最新のニュースをお役立ち情報として、10回配信しました。

## 3) 学校給食をテーマとした絵画展示

下記大会に絵画作品を展示し食育の推進に努めました。食育推進全国大会では学校給食関係者以外の一般の方々にも絵画を通して広く学校給食の現状等普及に努めました。

(1) 第6回食育推進全国大会（平成23年6月18～19日 於：静岡県三島市）

(2) 第52回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会（平成23年8月18～19日 於：高知県高知市）

(3) フードシステムソリューション2011（平成23年10月26～28日 於：東京都）

(4) 第62回全国学校給食研究協議大会（平成23年11月8～9日 広島県広島市）

## II. 学校給食事業に関する助成

下記の団体に対し事業運営費の助成を行いました。

1. (社) 全国学校栄養士協議会（会長 市場祥子）

2. 日本学校調理師会（会長 山本五十六）

～学校調理師研究大会「食の安全に関する調理員講習会」～

（平成23年8月4～5日 昭和女子大 人見記念講堂）

### Ⅲ. 学校給食の状況に関する調査研究等

#### 1. 給食関係者等との連携強化

##### 1) モニター制度の継続

平成12年度より始まった品質等調査研究員（モニター）制度（各2年間）は（社）全国学校栄養士協議会の協力を得て、47都道府県の栄養教諭・学校栄養職員の中からモニターに就いていただき、学校給食の食材等に関する意見や提言を受ける制度です。本年度で6回目を迎え、回を重ねるごとに参加意識も芽生え、報告数も期間としては最高を記録しました。

6回目（平成22年9月～平成24年3月）の実績は403件です。

尚、前回（平成20年4月～平成22年3月）の実績は259件でした。

##### 2) 学校給食普及改善委員会の発足

全国の栄養教諭および各県学校給食会の代表者15名を当該委員会の推進委員に委嘱し、委員会を7月1日に立ち上げました。また、第1回学校給食普及改善委員会を12月10日に開催し、推進委員との情報交換により当協会の活動への理解が深まり、一定の役割を果たしました。

### Ⅳ. 給食物資に関する調査研究並びに供給

#### 1. 学校給食用優良食品開発研究

本年度は東日本大震災の津波等による工場被災や放射能汚染の影響により製造工場等の変更を余儀なくされました。

- ・全学栄 グリーンボール（高橋徳治商店 震災により一時生産休止）
- ・全学栄 枝豆とじゃこの元気ボール（原料種（魚肉の魚種）の変更および製造工場変更）
- ・全学栄 黒豆さつま（原料種（魚肉の魚種）の変更および製造工場変更）
- ・全学栄 すいせん スクールちくわ（原料種（魚肉の魚種）の変更および製造工場変更）
- ・全学栄 ニューミートップ（原料メーカーおよび産地の変更）
- ・全学栄 かぼちゃチーズフライ（製品規格および製造工場変更）
- ・全学栄 すいせん スクールチーズフォンデュサンドコロケ（製品規格および製造工場変更）
- ・全学栄 すいせん うの花コロケ（製造工場変更）
- ・全学栄 すいせん ブルーベリーゼリーCFE（震災によりトップシール用フィルムの原反不足）
- ・全学栄 すいせん 白花豆コロケ（原料産地の変更および原料産地の追記）
- ・全学栄 すいせん スクールグラタン（原材料の変更）
- ・全学栄 すいせん 美ら海育ちもずく（注意喚起表示を追記）
- ・全学栄 すいせん プルーン（サイズ規格変更）
- ・全学栄 すいせん 青大豆ペースト（成分表示変更）

- ・全学栄すいせん クラスメイト（すいせん製品への申請）
- ・全学栄すいせん 菜の花ふりかけ（使用原料変更）
- ・全学栄すいせん いが栗蒸し（終売）

## 2. 全学栄製品・全学栄すいせん製品の認定業務

「全学栄すいせん製品 製造工場認定基準」による製造工場視察を行いました。

- ・北陸冷蔵株式会社（スギヨ）（平成 23 年 5 月 13 日）
- ・恩納村漁業協同組合（平成 23 年 10 月 4 日）
- ・雪印メグミルク株式会社 横浜工場（平成 24 年 1 月 27 日）

\*全学栄製品・全学栄すいせん製品一覧表をリニューアルし、調理講習会、第 6 回食育推進全国大会、第 52 回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会、及び第 62 回全国学校給食研究協議大会において約 2,500 部配布し、全学栄製品・全学栄すいせん製品の普及に努めました。

## 3. 学校給食用脱脂粉乳供給事業

- 1) 東日本大震災による災害時の緊急支援物資としてや簡易給食の実施による学校給食用パンの使用頻度が増加したことにより、都府県学校給食会への売渡数量は前年比 0.5%増の 870 トンの実績となりました。
- 2) 前年に比べ数量増にも拘わらずオセアニアより安定的に輸入し、供給することが出来ました。

## V. その他

### 1. 中期 3 カ年計画の策定

収入面の安定を図ることが計画策定に繋がるため、1 年延期しました。

### 2. 寄附募集の拡充

公益法人としての寄附を受け易い環境特性を生かし、各法人より来期の絵画募集事業に対する特別協賛の承諾内定を受けました。また、第一四半期に当協会発行のすこやか情報便や絵画作品集を個人の寄附者に送付することにより、個人寄附者を多数募ることが出来ました。

## 公 2 国産食肉需要構造改善対策事業

(独) 農畜産業振興機構の公募事業である「国産食肉需要構造改善対策事業」は要員減により本年度は応募を辞退しました。